

科目区分	専門教育科目	科目名	運動遊びの実践		科目コード	22Y207	担当者	野田 章子				
対象学生	幼児教育学科 2年生		学期区分	前期	単位数	2	担当形態	単独				
			授業形態	演習								
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択				
							免許・資格要件	保育士必修				
科目の主題							学修成果との関連 (大◎、中○、小△)					
本科目は、自らの運動遊びの実践をもとに幼児期に望ましい運動遊びの指導法を考えることを目標としている。本科目では、①運動遊びを実践できる、②運動遊びを考えられる、③運動遊びの指導方法が分かる、ことをねらいにしている。							1. 「 尽心 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と 創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標							① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・創造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	運動遊びの指導方法が分かり、説明できる。											
2.	運動遊びを実践でき、発表ができる。											
3.	運動遊びについて考えることができ、グループ学習で提案できる。											
4.									◎			
5.										○		
							成績評価の方法と割合					
授業方法							受講態度 (50%) 提出物 (30%) 発表内容 (20%)					
実践を中心に自身の運動技能を身につけ、運動遊びの指導法を学ぶ。 アクティブ・ラーニングとして、グループ活動を取り入れ、意見交換の場を設ける。												
課題等への対応							授業外学修時間					
提出された課題は内容を確認し、コメントし、質問などに答える。							180分/授業1回					
回数	授業計画						学習課題 (予習・復習)					
第1回	心と体をほぐす遊び (仲間づくりのおそび、簡単なフォークダンス)						事前：アイスブレイク遊びについて調べる 事後：アイスブレイク遊びのねらいや遊び方をまとめる					
第2回	ボールを使った遊び (体ほぐし、走りっこ、鬼ごっこ、ゲーム)						事前：ボール遊びについて調べる 事後：ボール遊びのねらいや遊び方をまとめる					
第3回	フープを使った遊び (体ほぐし、走りっこ、鬼ごっこ、ゲーム)						事前：フープ遊びについて調べる 事後：フープ遊びのねらいや遊び方をまとめる					
第4回	なわを使った遊び (体ほぐし、走りっこ、鬼ごっこ、ゲーム)						事前：なわ遊びについて調べる 事後：なわ遊びのねらいや遊び方をまとめる					
第5回	紙や布を使った遊び (体ほぐし、走りっこ、鬼ごっこ、ゲーム)						事前：紙や布を使った遊びについて調べる 事後：紙や布を使った遊びのねらいや遊び方をまとめる					
第6回	マット、鉄棒、跳び箱を使った遊び (体ほぐし、サーキット遊び)						事前：サーキット遊びについて調べる 事後：サーキット遊びのねらいや遊び方をまとめる					
第7回	ルールのある遊び (じゃんけん遊び、チーム対抗の鬼ごっこやゲーム)						事前：ルールのある遊びについて調べる 事後：ルールのある遊びのねらいや遊び方をまとめる					
第8回	伝承遊び (独奏、竹馬、わらべ歌遊び)						事前：伝承遊びについて調べる 事後：伝承遊びのねらいや遊び方をまとめる					
第9回	イメージを使った遊び (体ほぐし、模倣遊び、表現遊び)						事前：表現遊びについて調べる 事後：表現遊びのねらいや遊び方をまとめる					
第10回	リズムを使った遊び (体ほぐし、リズム遊び、簡単な踊り)						事前：リズム遊びについて調べる 事後：リズム遊びのねらいや遊び方をまとめる					
第11回	表現・リズム遊びの指導法① (子どもに適した題材を選ぶ)						事前：子どもに人気の歌や曲を調べる 事後：歌や曲を聴く					
第12回	表現・リズム遊びの指導法② (子どもに適したひとながれの動きをつくる)						事前：子どもに適したひとながれの動きを考える 事後：ひとながれの動きを練習する					
第13回	表現・リズム遊びの指導法③ (子どもに適したひとまとまりの動きをつくる)						事前：子どもに適したひとまとまりの動きを考える 事後：ひとまとまりの動きを練習する					
第14回	表現・リズム遊びの発表						事前：発表の練習をする 事後：発表の感想を書く					
第15回	運動遊びの指導のまとめ 発表の内容を振り返り、自己の課題をみつけ、より良い運動遊びについて考えを深める						事前：運動遊びの指導について調べる 事後：運動遊びの指導の要点をまとめる					
試験	定期試験を実施しない											
教科書	授業ごとに教員が作成した紙媒体の資料を配布する。						受講生へのメッセージ 幼児の身体活動を伴う遊びでは保育者が学習モデルであり、その発展には保育者自身の豊かな運動遊びの経験が大きな影響を持つと考えられます。運動技能を身につけながら、子ども達にとって最適な指導ができる方法を学びましょう！					
参考書等	保育と幼児期の運動あそび／岩崎洋子 (編著)／萌文書林 うきうきわくわく身体表現遊び 一豊かに広げよう！子どもの表現世界 ／高野牧子 (編著)／同文書院 あたらしい表現遊び／小谷隆真 (編著)／すずき出版											